

企業名： シスメックス株式会社

レポート名： シスメックスレポート 2022

### 1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

シスメックスレポートには、グループ企業理念として「Sysmex Way」が定められている。それは、シスメックスが社会に貢献し、成長し続けるために Mission、Value、Mind と行動基準で構成されている。そして、それぞれの心構えについて具体的詳細に示した上で、それらを元として長期経営目標の長期ビジョン、長期ビジョンに基づく同社のポジショニングについて流れに沿って示されており、同社が目指す将来の姿について理解がしやすいと感じた。また、それぞれのポジショニング達成のため、事業領域の拡大、企業価値・風土の向上といった具体的な施策が示されている点も同社が目指す将来を見据え、実際に具体的な行動を推進していることを理解することが出来て良いと感じた。

### 2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

シスメックスは、特にヘマトロジー分野においてグローバルシェア 50%以上を確保し、世界トップのポジションを維持している。また、尿検査分野や血液凝固検査分野においてもアライアンスパートナーとの協業により、売上シェア第一位を確保しており、市場の中において高い優位性があることがわかる。また、シスメックスレポートには、同社がヘマトロジー分野において培った顧客基盤や技術、品質、市場におけるプレゼンスなどのノウハウを活かし、検査分野やソリューションの拡充を進めてきたことにより同社が市場の中でポジションを確立し、成長を続けることができた要因であるとされており、その点が他社と比較して競合優位性があると理解できる。更に、機器購入後も専用試薬の提供、サービス・サポートの提供などにより長期間にわたり顧客との関係を維持する高い収益モデルが構築され、顧客から高い満足度を得ていることも示されており、シスメックスのビジネスモデルの強みが詳しく理解できる。

### 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

シスメックスが市場において高い売上シェアを誇る分野の市場成長率が、比較的高いことがわかりやすく示されており、現在の競争優位性を持続可能であることが理解できる。また、シスメックスの収益モデルとして、機器購入後に専用試薬やサービス・サポート提供といった継続的に収益が得られるモデルが構築されている。そして、試薬の提供などといった安定的な収益源の売上高構成比が 76%となっており、検査機器と試薬の両方を提供し、より収益率の高い試薬で長期間にわたり高い収益を上げるという同社が強みとしているビジネスモデルの持続性が非常に理解できる。また、創業以来高い付加価値を生み出し

てきた研究開発力にシスメックスは力を入れていることがこのレポート内では強調されていると感じた。同社が研究開発を通じて新たに提供する価値について表を使い、素人にでもわかりやすいように示している形はとても理解しやすく、良いと感じた。更に、研究開発において新たに価値創造したものを知的財産権において保護することで、グローバルな競争の中で優位性を確立していることが理解できた。

#### 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

シスメックスレポートには、従業員を重要な経営資源とし、魅力ある職場の実現に向けて様々な施策やその進捗度が記されている。シスメックスの海外売上高比率は 80% を超え、海外従業員率も 60% を超えていることから同社はさまざまな文化、信条、価値観や経歴を持つ多様な人材が、互いを尊重し、自らの専門能力を最大限に活かせることを可能にすることで、企業価値・風土の向上を推進し、それらを競争力強化へ繋げていることがシスメックス・レポート内では示されている。それらを実践する具体例として、ジョブ型の人事制度を導入し、共通のポリシーに基づいた等級制度、評価制度を展開することで、グローバルで統一した人材マネジメントを行うとしている。そして、DX 化を推進することで従業員のタレント情報の可視化などを行うとしている。したがって、人事制度や職場環境の改善などを進めることで同社の全従業員の多様性を尊重しつつ、DX の活用等を行うことで個々の多様な能力を最大限に発揮できるようにすることで、全従業員の価値向上を目指し、達成しているのだと理解することができた。

#### 5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

シスメックスの企業理念からそれを達成するための施策を徐々に具体化し、最終的には具体的な数値目標を出した上で、現在の進捗状況なども公開することで将来の同社の姿を達成するために積極的に行動していることが理解できる形となっており、良いと感じた。しかし、なぜかその中で数値目標を出していない項目や、数値目標の設定根拠などが無い箇所があった。したがって、それらについての言及や目標値について同業他社との比較などがあるとより適切なシスメックスの目標進捗状況や達成状況の評価をすることが可能であると考えた。そして、人材育成についてグループ共通の「グローバル人材開発体系」について言及されているのみで、具体的な内容に触れられておらず残念だと感じた。また、医療専門外の人にはわからないような単語について補足説明が足りないと感じる部分があったので、その点について少し詳細に説明があることであらゆる人が理解しやすい統合報告書になると考えた。